

平成17年度

北秋田市読書感想文・読書感想画

コンクール作品集

# 読書のあそび



読書のあとで

「表紙」題字 滑川道夫先生 昭和初期の教育家。一九〇六年生。秋田師範学校卒。

児童文学と学校図書館の普及に尽くした。

絵 鷹巣小学校 二年 高堰泰成

平成十七年度 北秋田市読書感想画コンクール

特選 「暗い中のお話」

書名 あらしのよるに

著者名 木村裕一

## もくじ

発刊によせて	北秋田市教育長	三澤	仁	3	
読書感想画					
☆ 幼稚園・保育園の部 〈特選〉					
てぶくろは にんきもの	鷹巣北幼稚園	齋藤	りこ	5	
☆ 小学校の部 〈特選〉					
みんなでクリスマスによる	鷹巣小学校	一年	久留嶋	瑠海	5
暗い中のお話	鷹巣小学校	二年	高堰	泰成	6
チロヌップのきつね	鷹巣東小学校	二年	小坂	悠華	6
〈入選・佳作〉					
読書感想文					
☆ 小学校の部 〈特選〉					
チュンセとポウセ、ありがとう	鷹巣中央小学校	三年	藤原	歌生	18

「いえでででんしゃはかつこいい？」	合川東小学校	四年	安田圭佑	19
人の心のあたたかさ	鷹巢東小学校	五年	高橋佳那子	20
一発の原子爆弾がもたらしたもの	鷹巢南小学校	六年	宮腰泉	21
☆ 中学校の部 〈特 選〉				
「ハッピーバースデー」を読んで	森吉中学校	一年	工藤彩	24
☆ 高校・一般の部				
「1リットルの涙」を読んで			神成恵美子	26
平成十七年度北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覽				29
平成十七年度北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覽				31
応募された方々				34

審査の先生	……	〈感想文〉	亀山恵子(阿仁中・校長)
			宮腰伸子(鷹巢東小)
			工藤千幸(綴子小)
			渡部猛(竜森小)
			山内賢也(鷹巢西小)
			杉山智子(鷹巢小)
			能登裕子(鷹巢中央小)
			嵯峨淳子(鷹巢南小)
			三浦利昭(鷹巢南中)
			谷内直毅(鷹巢中)
			和田克郎(大館市教育委員会)
			佐々木久隆(朴瀬小・校長)
			〈感想画〉

……… 発刊によせし………

## 「読書のすすめ」

北秋田市教育長 三澤 仁

十七年度の北秋田市読書感想文コンクールへの応募は九十五点で昨年よりも十一点多く、読書感想文コンクールの方は三百二十六点で、これは昨年よりも二十九点少ない応募でした。お忙しの中、作品を応募してくれた園児や小・中学生、さらには高校生や一般の皆さん、そして指導して下さった先生方には、本当にありがとうございます。また、たくさん作品を丁寧に審査して下さいました先生方には、深く感謝申し上げます。

最近読んだ本で『祖国とは国語』というのがあります。著者は藤原正彦です。この方はそもそもが数学者であり、現在お茶の水大学理学部の教授です。ただ、父が新田次郎、母が藤原ていですから、文学的な素質が十分あるのは確かです。彼は数学者なのに、根っからの国語教育絶対論者であり、ことあるごとに、国語教育の重要性を強く訴えています。そして口癖のように「小学校における教科の重要度は、一に国

語、二に国語、三、四がなくて五に算数、あとは十以下である。」と言っているのです。

私たちが物事を考えたり、何か話そうとするときの頭の中はどうなっているのでしょうか。そうです、すべて日本語で考えたりまとめたりしていませんか。しかも自分で覚えている言葉（語彙）の範囲で考えたりまとめたりしているのです。従って、言葉をたくさん覚えておれば、考え方も深まったり広がったりしてくるのです。

この先生は読書についても、「読書は、深い知識や教養を獲得するためのほとんど唯一の手段である。」と強く読書をすすめています。また、国語教育についても、「読む」「書く」「話す」「聞く」に重ねみをつけると、二十対五対一対一くらいだろう、とも言っています。

さあ、迷う必要はありません。うんと読書をして国語の力をつけましょう。国語はすべての知的活動の基礎なのです。

# 読書感想画

## 《特 選》



鷹巣北幼稚園 5歳 齋藤りこ

くまさん いりぐちからどうぞ。てぶくろは にんきものだね。まんいんでにぎやかになったね。

てぶくろは にんきもの

書名 てぶくろ  
著者名 ウクライナ民話



鷹巣小学校 1年 久留嶋 瑠海

サンタさんが、いろいろなどうぶつのいえにまどからおくりものをとどけます。しかけがあってとてもたのしいです。このえは、ぜんぶのページのおはなしを1つにまとめました。

みんなでクリスマスによる

書名 まどからおくりもの  
著者名 五味 太郎

## 暗い中のお話

書名 あらしのよるに  
著者名 木村 裕一



鷹巣小学校 2年 高堰 泰成

暗やみの中で声だけで話をするってどんな気持ちかな、と思いながら描きました。お互い近くにいるけれど、顔が見えていないので、ちがうところを見ながら話しているようにしました。ヤギとおおかみが暗い中だけど安心して話しているので、どちらもやさしい顔になりました。

## チロヌップのきつね

書名 チロヌップのきつね  
著者名 たかはし ひろゆき



鷹巣東小学校 1年 小坂 悠華

わたしは、かあさんぎつねが「ワナ」にかかったちびぎつねといっしょに「しらかば林」の入り口でよりそっているばめんをかきました。どうしてせんそうはどうぶつまでおそうのか考えながら絵にしました。

《 入 選 》



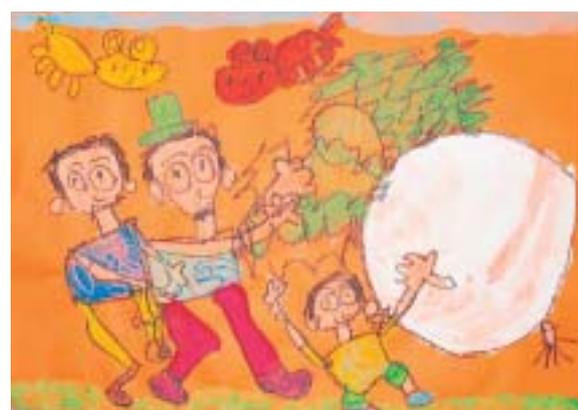
てぶくろのなかは ぼっかぼか  
鷹巣北幼稚園  
5歳 三澤 乃 亜



こわいおにをたいじした いっすんぼうし  
鷹巣西幼稚園  
6歳 佐々木 優 奈



おひめさまをまもった いっすんぼうし  
鷹巣西幼稚園  
6歳 成田 千 佳



おーい てつだってよ  
鷹巣東保育園  
5歳 柳 谷 朋 典



いっすんぼうしにはかなわない  
鷹巣北幼稚園  
5歳 沢田 玲 奈



すてきなくつをつくりましょう  
鷹巣中央保育園  
5歳 芳賀 光 希

《 入 選 》



すてきなわたしのくつ

鷹巣東保育園  
6歳 大山 穂乃果



つよいぞ  
いつすんぼうし

鷹巣中央保育園  
6歳 嘉藤

拓



悪いオニをやっつけた

竜森保育園  
5歳 堀部 竜 誠



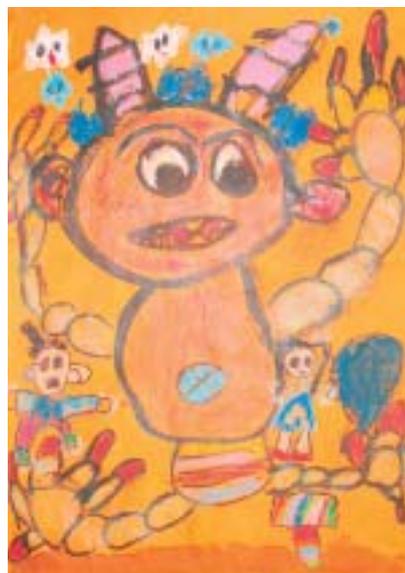
くまがみつけたんだよ てぶくろ

七日市保育園  
6歳 佐藤 樹 音



てぶくろのなかには

鷹巣教会幼稚園  
6歳 児玉 福 明



にげたおにといっすんぼうし

米内沢保育園  
5歳 木村

まつり

《 入 選 》



なかよくなりたかったのに  
鷹巣南小学校  
1年 さとう ひびき



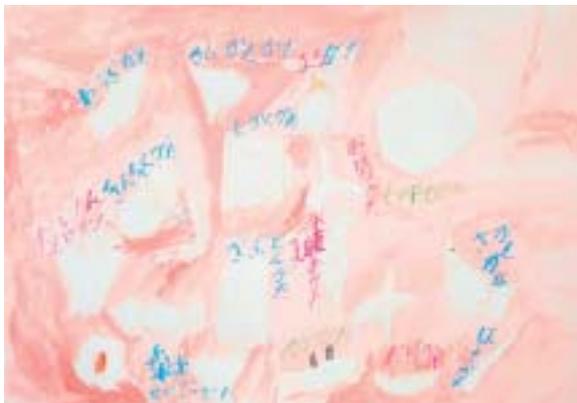
にこにこけっこんしき  
綴子小学校  
1年 三 澤 瑚 子



おかしをえらんでいるスマレひめ  
竜森小学校  
1年 堀 部 綾 乃



空のランプ  
鷹巣南小学校  
1年 佐 藤 大 河



ぎょうざのひ うれしいな  
合川東小学校  
1年 関 弘 夢



やさしいおじいさん  
大阿仁小学校  
1年 松 橋 千 里

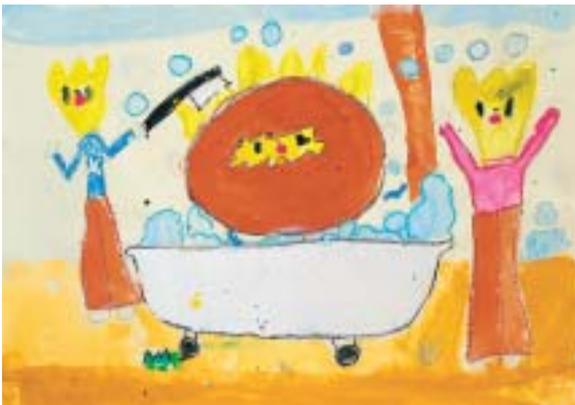
《 入 選 》



へんてこなお茶会  
鷹巣小学校  
2年 成田 舞香



ガオ〜  
鷹巣小学校  
2年 津谷 雄大



どんどんきれいになるね  
鷹巣中央小学校  
2年 小松 加奈



おいしそうだな がまくん かえるくん  
鷹巣東小学校  
2年 小笠原 実咲



いいよって言ったの聞いてたよ  
合川東小学校  
2年 加賀 京美



天国に行くネルロとパトラッシュ  
鷹巣南小学校  
2年 長崎 澪

《 佳 作 》



とってもおしゃれなあおむしくん

鷹巣西幼稚園  
5歳 工藤 美幸



すてきなくつをつくりましょう

鷹巣中央保育園  
6歳 茂内 柚



やっとなげたぞ おおきなかぶ

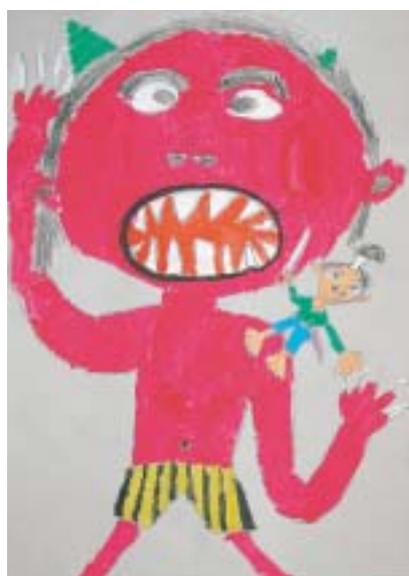
鷹巣中央保育園  
6歳 小畑 ひかり



いっすんぼうしはつよいね

鷹巣北幼稚園  
5歳 田中

賢



おおきなおにもまけないぞ

鷹巣中央保育園  
6歳 小林 涼太



すてきなくつをありがとう

綴子保育園  
6歳 藤嶋 優那

《 佳 作 》



みんな ここであそぼうよ

七日市保育園  
6歳 武田 沙輝



おにとうちでのこずちといっすんぼうし

米内沢保育園  
6歳 戸沢 柚花



かぶがぬけたよ

米内沢保育園  
6歳 近藤 美緒



ぼくたちくっちゃん

鷹巣東保育園  
6歳 村上 公成



いっすんぼうし

米内沢保育園  
5歳 庄司 沙樹



しましまてぶくろにはいったよ

南鷹巣保育園  
6歳 吉田 勇人

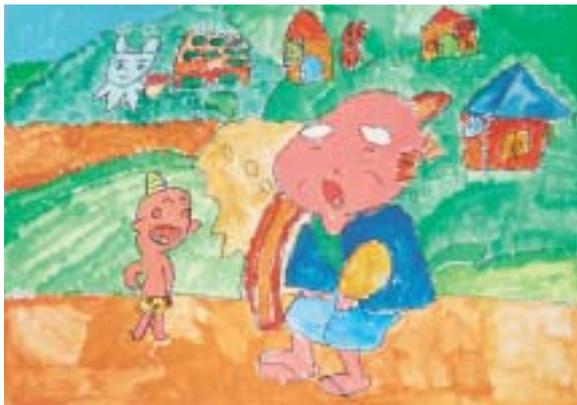
《 佳 作 》



おいしいね  
鷹巣小学校  
1年 林 雄大



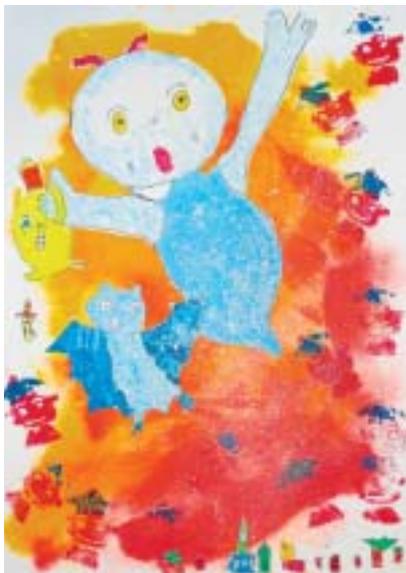
うみの中をたんけんしたよ  
鷹巣西小学校  
1年 成田 鈴音



あえて よかったね  
鷹巣東小学校  
1年 菅原 悠理



うれしいね、ともだち  
鷹巣小学校  
1年 津谷 瑞希



アカオニにあいにくオバケちゃん  
1年 竜森小学校  
梅原 圭祐



なかまたちとであえたユック  
鷹巣中央小学校  
1年 ちば さくら

## 《 佳 作 》



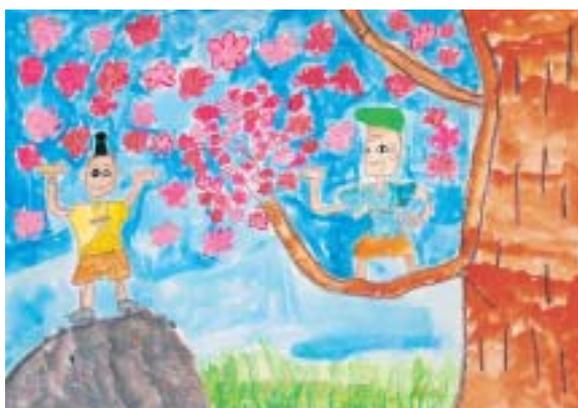
浦田小学校  
1年 柳山 紗希

みんなでいっしょにおどったよ



えさだぞ！あつまるさかなたち

竜森小学校  
1年 武田 玲菜



花がいっぱい

大阿仁小学校  
1年 松橋 未来



おやゆびひめ

浦田小学校  
1年 簾内 咲帆



海のなかまがいっぱい

合川東小学校  
1年 山田 海斗



かわいいアザラシ

合川東小学校  
1年 藤嶋 星華

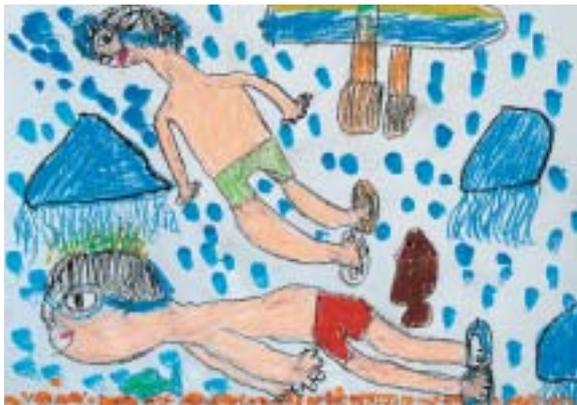
《 佳 作 》



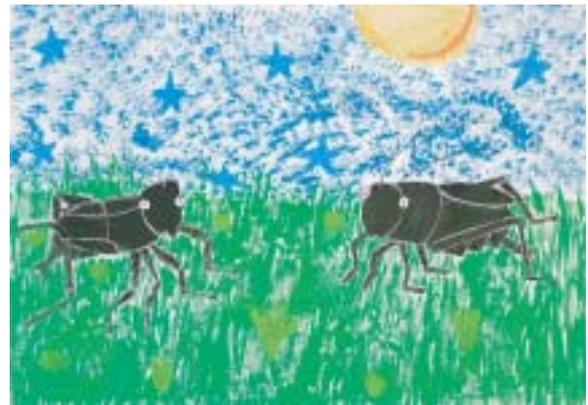
さかなたちのさんぽ  
綴子小学校  
2年 佐藤 樹



ひまねことわたしのるす番  
鷹巣西小学校  
2年 桜庭 優佳



くらげにさされていたそうだ  
鷹巣中央小学校  
2年 伊藤 孝輔



いい音鳴るかな  
鷹巣小学校  
2年 金 萬 爽



たいじしたぞ！  
竜森小学校  
2年 笹代 博也



みじかいつのが長くなった  
鷹巣中央小学校  
2年 松岡 文明

## 表現前のある子どもの言葉より

私は この絵に  
自分の心のなかを かきたいと思っています。  
自分の想像力で 考えたことを  
そのまま 絵にしたい 自由に 絵にかきたい

## 感想画講評

このたび出品されたみなさんの作品は、読書して受けたイメージや感動が心の中に広がり、これをエネルギーに楽しみながら、のびのびと描いていてとても感動しました。

今回の読書感想画コンクールを審査した際の審査の観点を紹介したいと思います。

1つ目は子どもが読書して受けた感動を素直に表現しているか、2つ目は表現したいもの(主題)に向かって思いっきり表そうとしているか、3つ目はマーブリングやスクラッチ、コラージュ等の表現技法が工夫されているか、4つ目は色彩は明るく斬新で豊かに表現され構図も工夫されているか、の4点でした。

指導の際は子どもの表現力を高めるために色画用紙はいろんな色を準備し、子どもたちに選ばせたものです。また、指導者が構図を決め、安易に登場物を貼らせている作品も見受けられました。構図も子どもたちに自由に考えさせたいものです。

今回のコンクール出品を機会に、これからもいろいろ感動したことを思いっきり絵に描いてみてください。また、題名は作品を表現したり理解する上で大変重要です。今回のみなさんの作品はどれもイメージしたことをふさわしい言葉で表していました。

### 幼稚園・保育園(年長児)の部

北秋田市立鷹巣北幼稚園 齋藤 りこ (5歳)

題名 「てぶくろは にんきもの」

書名 「てぶくろ」

- ・評 「くらくてさむいさせつ、あったかいてぶくろにみんなでいっしょにはいりましょと、くまさんをさそっているどうぶつたちのひょうじょうがたいへんよくひょうげんされています。てぶくろやどうぶつたちをつつむくろのいろがようしに、ふりつもるしろいゆきがこうかてきです。」

### 小学校1年の部

北秋田市立鷹巣小学校 久留嶋 瑠海

題名 「みんなでクリスマスのよる」

書名 「まどからおくりもの」

- ・評 「どうぶつたちはサンタさんのためにいろんなしかけをじゅんびし、たのしいゆめをみながらサンタさんをまっています。くらやみのかすかなひかりの中でねむるどうぶつたちのふんい気がたいへんよくえがかれています。このえはぜんぶのページのおはなしをくふうし、一つにまとめてえがいています。」

### 小学校2年の部

北秋田市立鷹巣小学校 高堰 泰成

題名 「暗い中のお話」

書名 「あらしのよるに」

- ・評 「ヤギとこわいオオカミが暗やみの中でお話をしています。暗いのでたがいにあいてがだれだかわかりません。そうとはしらずお話するヤギとオオカミを白と黒のたいひでだいたんにあらわし、うしろのちゃ色のたてものはどうどうとしてカブよいこうずになっています。」

北秋田市立鷹巣東小学校 小坂 悠華

題名 「チロヌップのきつね」

書名 「チロヌップのきつね」

- ・評 「わなにかかったちび子ぎつねと、そのちび子ぎつねにじっとよりそう母さんぎつねを、ぼつんと画めんのまん中にえがいたのがこうかてきです。ちび子ぎつねをみまもる母さんぎつねのやさしいひょうじょうと、まわりのけしきをたんじゅんかし黄色でまとめたのがたいへんしんせんです。」

前大館市北秋田郡造形教育研究会会長 和田 克郎  
秋田県造形教育研究会副会長 佐々木 久隆

# 読書感想文

☆ 小学校の部〈特 選〉

チュンセとポウセ、ありがとう

鷹巣中央小学校 三年 藤原歌生

わたしは、空の下にすんでいるけど、ふたこの星は、空の上で  
どんなくらしをしているのかなと思い、読んで見たくなりました。

ふたこの星の名前は、チュンセとポウセ。ふたりは、いつもな  
かよし。空の王さまから仕事をもらっています。

その仕事は、毎ばん、星めぐりの歌に合わせて銀の笛をふくこ  
とです。今にも耳をすませば聞こえてきそうで、しぜんと体が動  
いてきそうです。きつときれいな音色だろうな。

わたしは、今、リコーダーの練習をしています。まだあまり  
上手にふけません。たくさん練習してうまくなり、チュンセとポ  
ウセみたいに銀のふえをふいてみたいな。

ある日、チュンセとポウセに仕事におくれてしまいそうなこと  
が起きました。それは、大がらす星とさそり星のけんかです。

なぜけんかになったかと言うと、さそり星が大がらす星のいや  
がる言葉を言つて、大がらす星をおこらせてしまったからです。

その時わたしは、さそり星に何を言われても大がらす星は、気  
にしないで、「グッ！」とがまんしていたら、おたがい大ケガをし  
なくてすんだのと思いました。でも、とてもくやしかったんだ

ろうな。さそり星は、なんていじわるなんだと思いました。そん  
なさそり星をふたこの星は助けてくれて、えらいなあと思いまし  
た。

さらに、すごいと思ったことがあります。チュンセとポウセが、  
気づつていた大きくて重いさそり星を、二人で協力して六時間  
い上もかけて、家におくつてあげたことです。わたしよりも小さ  
い体なのに……。もしもわたしだったら、

「もう、自分のせいなのにいやになる。」

と、ブツブツ言つて、と中でにげ出すと思います。でも、二人は  
やさしく助けてあげました。きつと、チュンセとポウセのやさし  
さにつつまれたさそり星は、いじわるな心もふつとんでやさしい  
心をもつたのだと思います。これからはきつと、友だちといっし  
よに、なかよく遊べるようになるでしょう。

この世の中、みんながチュンセとポウセみたいなやさしい心を  
もっていたら、いろいろなぼう力できずつく人もいなくなり、幸  
せになれるのになあと思いました。

わたしには、妹がいます。遊んでいて、自分のやりたいことを  
ゆづらなかつたり、いじわるされたりして、けんかになることが  
あります。けんかをする、いっしょにいたり話しをしたりする  
のいやになります。でも、「おねえちゃん、ごめんね。」

と、妹からあやまってくるがあります。妹のやさしい気もち  
がわかって、わたしもうれしくなつてあやまります。やっぱり、  
なかよしが一番。わたしもやさしい心で、妹と助け合つていきた

いなと思います。

空の上で見ていてね、チュンセとポウセ。

### 〈講評〉

いじわるなさそり座を助けたふたご星チュンセとボンセは、とても広い心をもっています。それに感動した歌生さんは、やさしい心のもち主ですね。ふたご星のやさしい心が次々に伝わって、みんなが助け合っていききたいという願いが素直に伝わってくるすばらしい作品でした。

## 「いえでででんしゃ」はかっこいい？

合川東小学校 四年 安田 圭 佑

さくら子が家出しようとした気持ち、ぼくにも分かるような気がする。

本当のことをいうと、ぼくは今まで三回家出をしたことがあるんだ。一番よく覚えている家出は、一年生のとき。何回やつても引き算ができなくて、むしゃくしゃして、鉛筆やノートにやつあたりをした。お母さんに、

「こんなこともできなくてどうするの。」

と言われて、ますます頭にきてその辺にあるものを全部がらがん投げてから家のうらに家出した。雪で家をつくって、「ここに住むんだ」と思ったけど、あんまり寒くてお母さんにごめんなさいをしようちにもどったっけ。

さくら子の家出は、「いえでででんしゃ」がむかえに来てくれるから、けっこう家出らしくなる。しかも、今のぼくには絶対会えない不思議な生き物までいっしょなんて、また家出したくなっちゃうなあ。

「いえでででんしゃ」は、ひとりぼっちじゃないし、空を飛んだり海の中までもぐる、飛行機みたいなせん水かんみたいな電車だ。でも、いつもはいばっている車しようさんが、いっばいなみだをためて、さくら子やけいすけに助けを求めに来たのには大きなわけがあったんだ。

ぼくたちの日本には、戦争をやっているところはないけれど、「いえでででんしゃ」は、戦争を見てしまった。それで地球がいやになったのかもしれない。日本の国も、ぼくたちが生まれる前、お父さんが生まれる前、おじいちゃんが子どものころに戦争をしていた。

「ちいちゃんのかげおくり」のちいちゃんや「一つの花」のお父さんは、戦争で死んでしまった。もっと生きたかったらうなと、この勉強をしながらぼくは思った。たくさんの人が戦争のために自分の町に住めなくなったことを、「いえでででんしゃ」の中からさくら子やけいすけも見えた。

戦争は人を殺し合うから、最初からなければいいのになとぼくは思う。だから、ぼくだんを落とすジェット機に、ケーキでこぼげきしたのは、大賛成だ。きよ大ケーキだったから、ジェット機はヨロヨロになったけど、多分けがはしなかったと思うから。せっかくのさくら子のおたん生日ケーキだったけどね。

さくら子の一回目の家出は、ムジツのつみでしかられたことだった。ぼくの家出は、四年生になって思い出してみると笑える。さくら子は、たん生日にだれもお祝いしてくれなくても、「仕方がないさ。わけがあるんだ」と思えるようになった。ぼくは、きちんと言いたいことが言えるようになったから、最近の家出はしていない。

「いえでででんしゃ」は、かつこいいけどいつまでも乗っていてはいけない電車なのかもしれないあと最後に思った。

#### 〈講評〉

自分にも似たような経験があったので主人公に共感できたのでしよう。語りかけるような書き方も効果的でした。本を読むことを通して自分と向き合い、考えを深めることができます。

圭佑君にとって家出なんてことは遠い昔の笑い話ですね。

## 人の心のあたたかさ

鷹巣東小学校 五年 高橋 佳那子

私の父は、左足をけがして、秋まで入院をしていました。ギブスをしていたので足をつくことができず、松葉づえを使っていた。

病室には、病気のため足を切断した人、うでを手術した人、父と同様に松葉づえの人、車いすの人がいました。自分で食事を運ぶことが大変そうでしたが、食事の時間になると、その人たちのためにまわりの人たちがいろいろ手伝ってあげていました。入院してきたばかりの人にも、みんなで声をかけて手伝ってあげていました。同じかん者さんではあっても、動ける人が、体の自由がきかない人のためにやさしくしてあげている。そんな様子を見て、何だか心がぼかぼかとあたたかくなりました。

母にこのことを話すと、母は、「まわりの人たちはあたり前のことと、ふつうのこととしてやってあげているから、見ていて心がぼかぼかになったんじゃないのかなあ。」と言いました。その言葉を聞いて、「人にやさしくできること」は人としてあたり前のことで、特別なことじゃないんだと思いました。相手を思いやる気持ちをあたり前のこととして行動に表すから、相手にもそのやさしさが

伝わるのでしょうか。そして、やさしさをもらった人は「ありがとう」の気持ちを言葉や笑顔で伝えるから、病室の中があたたかくなるんだと思います。

ホタルたちは、羽がちぢんでいるからとか飛べないからとばかりにしたり、仲間はずれにしたりしないで応えんしてあげます。つかまりそうになった仲間の身代わりにまでなります。仲間を大切にするという気持ちがいっぱいでした。男の子たちも同じです。足のきかないひろちゃんのためにホタルを見せてあげようとする気持ち、人を思う気持ちがいっぱいでした。ひろちゃんのためににげることもわすれて、一生けん命光ってあげるホタルもそうです。ホタルが放った光のようにやさしい心が静かに、そして強く広がっているような気がしました。

やさしさとは、一方通行ではないと思います。たがいに思いやる気持ちがあれば、やさしさは輪になって広がっていくのです。やさしさの輪がどんどん大きくなって、世界に広がれば、きっと戦争がなくなり、みんなが協力し、助け合って生きていけると思っています。

私は、あたり前のこと、ふつうのこととして、人にやさしくできる人になりたい。そして、やさしさや思いやりの輪を身近なところからどんどん広げていける人になりたいです。その輪が、やがては世界の人々の心でと切れず、大きくつながってほしいと思います。

## 〈講評〉

「とべないホタル」を読んで感じた、互いに思いやる気持ちや心のあたたかさを、お父さんの入院中に見た光景と重ね合わせて書き表しているすばらしい作品です。やさしい気持ちが世界に広がることを願う佳那子さんの気持ちを、これからも大切に持ち続けていってほしいと思います。

## 一発の原子爆弾がもたらしたもの

鷹巣南小学校 六年 宮 腰 泉

私は、「白い町ヒロシマ」を読んで、一番心に残ったことは、作られた物語ではなく実際にあったことを文章にしているのが、主人公の心の悲しみがとてもよく伝わったことです。また、人が殺しあう戦争は二度とあつてはいけないことだと思いました。

一発の原子爆弾は二十万人もの人々の命と、家や学校や建物を一瞬のうちにはうばってしまいました。もし、日本が国際連盟を脱退しなければ、広島に原爆を落とすような戦争は、なかったのかもしれない。

戦争のこわさを知らない私の目の前で、もし同じ出来事が起こったとしたら自分でどんな行動をとれるのか、考えさせられます。

た。

主人公の靖子さんは、小学校四年生で疎開の意味も分からないまま、敵の空襲からさけるために大好きな家族と別れて集団疎開に行きます。疎開生活中にノミやシラミにも、なやまされて大変な思いをしました。そんなつらいときに原爆でお母さん、お姉さん、弟をいっぺんに失った靖子さんは、どんなに悲しい気持ちだったでしょう。また、話を聞いただけで亡くなったところを見ていないので、信じられなかったと思います。

私は去年、両親と広島原爆ドームを見学する機会がありました。原爆資料館で、爆弾が落とされた直後の写真、実際の大ききの爆弾、石段に座っていた人の黒いかげ、八時十五分で止まっていた時計、そして丸い屋根の鉄骨だけ残っていたドームなどを見て、原爆のおそろしさと戦争のむごさを実感しました。また、平和を祈る人々がおくった千羽づるを見て、みんなの気持ちは同じだと思いました。

祖父が話してくれましたが、私の学校にも戦争中は都会からの空襲をさけるために、親せきを頼って学童疎開の子供達がきたそうです。食べる物も分け合わなければならない時代だったそうです。この時代に私が生まれていたら、がまんできなかったと思います。

今、原子爆弾が落とされた原爆ドームは、「永久に残っているとむごたらしいありさまを思い出すので早く取りこわしてほしい」という声もありましたが、核兵器のおそろしさを伝えるために世

界遺産として残されています。

靖子さんのお父さんが「八月六日は日本人にとって決して忘れることができない悲さんな日となった。このことを心にいつまでも刻んで、自分の子供にも必ず伝えていってもらいたい」と言っています。

今でも原爆病で苦しんでいる人が、たくさんいるということは戦争のつめあとがまだ続いているのです。

いれいひに書かれていた「やすらかに眠ってください。過ちはくり返しませぬから」のように二度と戦争を起こさず、核兵器のない平和な世界になってほしいです。

#### 〈講評〉

「戦争は決してあってはならないものだ」という泉さんの強い思いが最初から最後まで貫かれている作品です。また自分自身の体験とも重ね合わせて、より深く読む人に戦争のむごさが伝わってきます。今なお世界に平和はおとずれてはけません。泉さんのように自分と自分の周りを見つめ直してみることが、世界の平和には必要なのだと感じました。

#### ◎小学生の作品を読んだ感想

本との出会いで、今まで思いもしなかったことに気づいてはつとしたり、「うーん」とうなるくらいよく考えさせられることがあります。深く考えるということは、よく生きることにつながると

思います。自分が体験したことがあることが書かれている本を読むと、主人公の気持ちがとてもよく分かります。また、経験したことのないことが書かれている本を読んだ時は、人の気持ちがかつたり、知らなかったことを知ったり、心が広く、豊かになります。本を読んで、いろいろな感想を持ち、その感想や意見、あるいはそれと関連した身近な出来事などを自分の言葉で表現することで感想文が生まれてきます。北秋田市になって初めての読書感想文コンクールの小学校の部には、八十一名の応募がありました。みなさんの作品を読んでどの作品もまじめな姿勢で読書していることが伝わってきました。みなさんのがんばりをとてもうれしく思いました。各学年毎の感想や、ここをこうしたらもっと素晴らしくなりますよという点をまとめてみました。

三年生は、読書をして感じた思いを、素直に書いている作品が多かったと思います。特に引きつけられた感想文は、読み終えた後、感じたことを自分におきかえて振り返り、自分の生活に結びつけている作品でした。この本と出会えた感動が伝わってくるという点がすばらしいと思います。また、「すごいと思いました。」の表記が目立ちました。感動を「すごい」というほかに、もっと別の言葉を使ったり、「すごくよかった。」と具体的に書き表したりすることでさらに豊かな作品になっていくと思います。

四年生は、本を読んだ後の感動が伝わってくる作品が多く、これからも様々な本を読んで感動してほしいと思いました。感想文を書くことを面倒がらずに、こうして応募しようとする気持ちが

すばらしいと思います。感想文を書いていくうちに、考える力も伸びていきます。こうすればもっとよくなるということは、書く時にもう少し構成を工夫すればいいということです。例えばあらすじが多すぎてそれに感想を付けたしているところとか、推敲をもっとすればいいと思われる惜しい作品もありました。毎年、同じような本についての感想文が見られ、思い切って新しい本に挑戦してみることがいいと思いました。

五年生では、障害を持った人の生き方についての本、いじめについて、ドキュメント等の作品を読んで自分の内面と向き合っていて、書いてある作品が多く感心しました。本の中の一部分だけでなく、全体的な生き方から学んだこと、考えたことを書くことができればもっと感動が伝わると思いました。五年生であれば強く、深く自分の内面と向き合うことができます。構成面でもあらすじを追う中に感想を述べるのもいいのですが、主題から考えたこと、体験等を結びつけて書けるといいと思います。構成を考えてから書き始めると感動がより伝わると思います。

六年生は、家族愛、友情、平和、人間と動物の愛、伝記などの感想文があり、どの作品にも本の内容と自分の体験が重ねて書かれていて、文章の中に書いている人の姿が見えるようでした。読書のあとによく考えていることも分かりました。考えていることを文章にする時に、「こう思った、こう考えた」という感想をただ並べているだけでなく、その中の特に心に残っているものを深く書くと、相手によく伝わると思います。

これからも読書することが習慣化され、しかも読書が子どもたちにとって、楽しいもので、心が明るくなるものとなってほしいと思っています。今回応募してくださったみなさんにはもちろん、保護者の皆様、ご指導いただいた先生方に心から感謝をしたいと思います。ありがとうございます。

## ☆ 中学校の部（特選）

### 「ハッピーバースデー」を読んで

森吉中学校 一年 工藤 彩

「ああ、あすかなんて本当に生まなきゃよかったなあ。」

自分の思い通りに成長した長男に比べて、できの悪い娘あすかに容赦ない言葉を浴びせる母、静代。あすかはそのストレスから自らの声を失ってしまったのです。しかし、あすかは人の自然の恵みの中にいる事で声を取り戻しました。私は、あすかが声を取り戻すきっかけになったものや、私達に教えてくれた事について、学び、考えてみたいと思います。

あすかが声を失ったのは十一歳の誕生日。あすかは、静代が誕生日を祝ってくれるのを待っていたのですが、静代はあすかの存

在を否定するような言葉を言うばかりで、心に傷を残す誕生日と なってしまいました。

もし、それが私だったら自分の声で何も言えない、言い返せない事が悔しくてしょうがないと思います。最低な母親だ。きつとそう思います。自分の子供に「生まなきゃよかった」なんて……。私は軽い口調で言った言葉の重みを感じました。そして、口答えできなければ、わめく事もできないあすかがとても惨めでした。

そんなあすかはある日、祖父母の家へ心の休息をとりに行きます。祖父母が沢山の愛情と自然の恵みを注ぐ事で、あすかは少しずつストレスから解放されたのでした。そして、祖父があすかに語る言葉はあすかも好きだったし、私もとても好きでした。一言一言に込められた言葉の意味はあたたかく、あすかの支えにもな ったはずです。その中で私が好きだったのは、

「怒る時は思いっきり怒れ。悲しい時は思いっきり泣け。」

という言葉です。あすかは声が出ない上に、静代に嫌味を言われると自分ののをぎゅつとつねるくせがつかまりました。辛ければ辛い程、自分を痛めました。祖父はきつと、そんなあすかを見て、そう言ったんだと思います。私はまるで、自分に言われているような気持ちになりました。私は、怒りたくても自分の気持ちを抑えるし、悲しくても辛くても、人前ではあまり泣きません。怒ると泣くのは、悪いイメージがあります。だから、怒ったり、泣いたりするのをがまんしていた私に、この言葉は心にゆとりをくれるようでした。怒ったり、泣いたりという単純な事だけど、そ

れをがまんする事で自分自身の感情を殺してしまっていたのだという事に気付きました。

そしてあすかは、やっと声を取り戻しました。あすかは喜びと、感謝の気持ちを声にのせて、祖父母に伝えました。感情の表し方は人毎々だけど、声のおかげでどれだけ伝わるかが声を取り戻したあすかを見てわかりました。あすかは、声と「生きる希望」が戻った事で、まるで別人のようになりました。でも、これが本当のあすかなんだなと感じました。

あすかの声として出てくる言葉は、とても輝いていて感心しました。

「人は変われる。そのためには学ぶのだ。」とあすかは言います。私は、人は人と関わって何かを学び、幾つものから破って少しずつ成長していく、という事だと予想しました。たとえ、あすかの言った事とは違う意味だとしても、自分にとって大切な事を意味していると思っています。

そして、あすかの十二歳の誕生日。静代はこの日、誕生日を祝いました。自分の娘、あすかの誕生日を。まだまだあすかにも、静代にも破らないといけないからあります。そしてあすかの心の傷跡はきつと消えません。でもあすかはこの誕生日で「生まれてきてよかった」と自分に言いました。親子の距離が少しでも縮まった事が、私は何よりうれしかったです。

「生まなきやよかった。」

この言葉はまだ私の頭の中に残っています。とても嫌な言葉だけ

ど、私には大切な事を気付かせてくれるきっかけになりました。

親の思い通りに成長した長男。できの悪い娘として見られてきたあすか。そして、自分の子供達をそんな風に見てきた静代。毎々、形は違えど、重さの同じ、尊ぶべき命なのだと思います。

もし、この世界のどこかに「私はここにいるよ。忘れないで……」と心の中でささやく、まるで声を失った頃のあすかのような子供を持つ、昔の静代のような母がいるなら、それは悲しい現実だけど、あすかや静代を見て欲しいです。自分の子供の心に傷をつける事が、どれだけ残酷で惨めなものかを。そして、自分の心を見つめ直すきっかけにして欲しいと思います。

私は、あすか達を見て「生まれてきてよかった」と思えました。そして「生んでくれてありがとう」というこの言葉、いつまでも大切にしていきたいです。

#### 〈講評〉

心を傷つける言葉、そしてその心をいやす言葉。「あすか」へかけられた言葉が彩さん自身にもかけられているかのように、その言葉の重みを感じています。

彩さんが、人との関わりの中で成長していく「あすか」の姿を通して、自分の普段の姿を見返し、今までの殻を破って成長していることが読みとれました。

### ◎中学生の作品を読んでの感想

今年の出品作品は一年生七点、二年生三点の計一〇点でした。

受験生であるため仕方ないとは思いますが、三年生の出品が無かったのは非常に残念でした。

また、一・二年生も昨年度よりは増えてはいるものの、出品数が少なく残念に思います。

出品された作品には、考え方のしつかりした、まとまりのあるものが多く見られました。少なかったものの二年生の作品では、作中の人物と自分の体験とを照らし合わせた説得力のある作品が目を引きました。

私たちは、本を読むことよって、未知の世界のことを知って、驚きや喜びといった感動を体験することができます。その感動体験があるからこそ、文章を書きたいという意欲もわいてくるものです。まずは、感動できる本に巡り会うことが大事です。そのためには、やはり多くの本を読む必要があります。

### ☆ 高校・一般の部〈特選〉

## 「1リットルの涙」を読んで

神成 恵美子

主人公亜也が、なぜこんなにも沢山の涙を流したのでしょうか。私がおもうには、亜也は、病氣と闘ったからだと思います。諦めていたら、沢山泣く事もなかっただろうに、悔しがっては泣き、情けなくては泣き、それでも「死にたい」と一度も言っていない。常に前向きでたまに落ち込む時はあっても、これができなくなつたので次は何をすべきか、動かなくなっていく体を甘やかす事なく、努力している様子が目に見えるように本の中から伝わってきます。それと同時に、家族の亜也に対する愛情や、絆の深さも感じました。特に母の亜也に話す言葉や、どんな非常事態がおきても自分がしつかりなくてはいけないという、精神の強さみたいなものは、自分も学ばなければいけないと思い、考えさせられました。

自分がはたして、亜也の母の立場になったら、子供に何がしてやれるだろうか？考えてみても、今現在それなりに元気で毎日を送っている我が子を見て亜也と重ねあわせることは、なかなかできませんでした。でも、この本を読んで、亜也の病氣の状態から、実家の両親を思い浮かべました。だんだん年老いて今まで何気に

できた事や、していた事が、大変になってきてるようだからです。遊びに行ったりすると、「雪道は転ぶかと思つて外に出ない」とか「この間ガス消し忘れた」とか数えればきりが無いほど、確実にできない事が増えて、家族の手を借りて暮らしかなくてはいけないのだと思うと、なんとも言えない気持ちになり涙が出ます。たとえ寝たきりになつても生きていてほしいという亜也の母の気持ちは、よくわかります。

亜也の病気脊髄小脳変性症と老化を似ていると思いました。が、彼女はまた発病したのが老化にはほど遠い十五才という若さでした。それは、すごいスピードで、彼女の色々な機能を奪つていきました。そのたびに、薬を飲んだり、苦しいリハビリをしたりと、彼女なりにがんばるのですが、病気の進行は止められませんでした。毎日、毎日、確実に弱つていく自分と向きあつていった亜也には、頭の下がる思いでした。私だったら、きつと耐えられず、何も努力せず、毎日泣き暮らすと思います。

この本の中では、障害者になつて、他人の目や、心ない言葉に傷ついたり、色々な辛いことをあまり重苦しく書いていないと思えました。悲観的な場面も少なく感じました。このことから、私は、この本から読み取つてほしいのは、難病にかかつて二十五才の若さで亡くなった少女の話というだけでなく、彼女がいかに少しでも長く生きるために努力を惜しまず、望みを捨てずに、がんばつたかという事につきますと思います。もし、亜也と同じような病気で苦しんでいる人がこの本を読んだら、自分もこうしては

いられない、がんばろうという気にさせてくれると思います。

「病気は、どうしてわたしを選んだのだろう」という亜也の言葉に最初は、とても悲しい響きを感じ、心から同情しましたが、本を読み終え、二十五才で亡くなるまで、選ばれた以上がんばつて病気から逃げずに闘い続けようという思いで、死んでしまいたいという言葉を封印して努力したのではと思います。だからこそ十年も生きれたにちがいません。

亜也は常に健康は何ものにもかえがたいと言っていました。なぜなら彼女は頭が良かったのに、病気のせいで、頭の良さを生かす事ができなかったのです。少しぐらい勉強ができなくても健康であれば生きていけるのですから。亜也にとつて一番欲しかったのは、健康な体でした。私達が普通に持っているものを手に入れられなかった亜也に、今度生まれ変わったら、元気な体を与えてほしいです。

私は幸運にも五体満足に生まれた事に感謝しなければならぬと思います。普通の事が普通にできる事を有難い事と思ひ、これからの人生を大事に生きて行こうと決めました。この本を読んでそういう気持ちにさせられました。亜也に出会えて本当によかったです

#### ◎高校・一般の作品を読んだ感想

特選の神成さんの作品からは、病気と闘う主人公の姿に自分の家族に重ね描き、さらに「生きる」ことを真剣に見つめている様

子が伝わってきます。他の三点の作品からも、本に対する「思い入れ」が強く伝わってきました。しかし、思いが強いために、読み取ったことから離れて文章が展開されてしまう傾向も見られ、その点がやや気になりました。

それぞれの作品の視点は日常生活の中では気づかぬところに向けられており、そのきっかけとして読書活動が位置づけられているのだと思います。今後も読書活動を通して生活を豊かにしていただければ幸いです。



# 平成十七年度 北秋田市読書感想文コンクール入賞者一覧

小学校	三年生	特選	チュンセとポウセ、ありがとう	藤原 歌生(鷹巣中央小)
		入選	野口英世を読んで	小笠原 朋香(綴子小)
		入選	ヘレンへ	宮本 春花(鷹巣東小)
		佳作	ひみつの友だち	成田 美鈴(鷹巣西小)
		佳作	手ぶくろを買いに読んで	小松 裕理香(綴子小)
		佳作	「生きるきぼう」	松尾 樹(鷹巣小)
	四年生	特選	「いえでででんしゃ」はかつこいい?	安田 圭佑(合川東小)
		入選	「地球が動いた日」を読んで	戸沢 菜々美(鷹巣西小)
		入選	最後までがんばったたいよう	千葉 颯都(鷹巣南小)
		佳作	その強い気持ちは忘れない	湊 彩歩(綴子小)
		佳作	「おいでカーリー」を読んで	津谷 和紀(鷹巣小)
		佳作	「ぼくへそまでまんが」を読んで	佐藤 楓(鷹巣東小)
	五年生	特選	人の心のあたたかさ	高橋 佳那子(鷹巣東小)
		入選	勇気をありがとう	中嶋 梓(鷹巣南小)
		入選	「まあちゃん」を読んで	千葉 美紗貴(鷹巣南小)
		佳作	ハードルを乗り越えて	山本 和(綴子小)
		佳作	五体不満足を読んで	鎌田 彩夏(鷹巣小)

六年生

- 特選 一発の原子爆弾がもたらしたもの …………… 宮腰 泉 (鷹巣南小)
- 入選 生きるということ …………… 高橋 宏一 (鷹巣西小)
- 入選 本当の友達 …………… 高橋 理奈 (米内沢小)
- 佳作 「キャンバスには家族の絵を」を読んで …………… 神成 恵梨菜 (鷹巣南小)
- 佳作 ありがとう、二人きりの母娘 …………… 神成 寧々 (米内沢小)
- 佳作 「義足のキリンたいよう」を読んで …………… 木村 悠花 (合川東小)

中学校

一年生

- 特選 「ハッピーバースデー」を読んで …………… 工藤 彩 (森吉中)
- 入選 輝け、あすかの命 …………… 亀山 澄香 (鷹巣中)
- 入選 ライディング・フリーダムを読んで …………… 北嶋 慶一 (鷹巣南中)
- 入選 松井選手の夢 …………… 武石 墨 (森吉中)
- 入選 言葉はなくても …………… 渡辺 夢璃憧 (森吉中)
- 佳作 松井選手から学んだこと …………… 五代儀 祐輝 (鷹巣中)
- 佳作 奴隷について考える …………… 畠山 知美 (鷹巣南中)

二年生

- 入選 「大切なことを教えてくれるスペシャルオリンピッククス」 …………… 菊地 たける (鷹巣南中)
- 佳作 「大切な約束」を読んで …………… 九嶋 真衣子 (鷹巣南中)
- 佳作 アジアの子どもたちは …………… 中嶋 大 (鷹巣南中)

一般・高校

- 特選 「1リットルの涙」を読んで …………… 神成 恵美子 (一般)
- 入選 一時の苦が幾多の幸を呼んでいる …………… 小林 愛 (能代高校)
- 入選 読書感想文、未完の1虎から人への『山月記』 …………… 斎藤 真琴 (一般)
- 入選 千の風にいやされてを読んで …………… 中嶋 美枝子 (一般)

# 平成十七年度 北秋田市読書感想画コンクール入賞者一覧

幼稚園・保育園

特選	てぶくろは にんきもの	齋藤りこ(鷹巣北幼稚園)
入選	こわいおにをたいじした いっすんぼうし	佐々木優奈(鷹巣西幼稚園)
入選	おひめさまをまもった いっすんぼうし	成田千佳(鷹巣西幼稚園)
入選	いっすんぼうしにはかなわない	沢田玲奈(鷹巣北幼稚園)
入選	てぶくろのなかは ぼっかぼか	三澤乃亜(鷹巣北幼稚園)
入選	てぶくろのなかには	児玉福明(鷹巣教会幼稚園)
入選	つよいぞ いっすんぼうし	嘉藤拓(鷹巣中央保育園)
入選	すてきなくつをつくりましょう	芳賀光希(鷹巣中央保育園)
入選	おーい てつだつてよ	柳谷朋典(鷹巣東保育園)
入選	すてきなわたしのくつ	大山穂乃果(鷹巣東保育園)
入選	悪いオニをやっつけた	堀部竜誠(竜森保育園)
入選	くまがみつけたんだよ てぶくろ	佐藤樹音(七日市保育園)
入選	にげたおにといっすんぼうし	木村まつり(米内沢保育園)
佳作	とつてもおしゃれなあおむしくん	工藤美幸(鷹巣西幼稚園)
佳作	いっすんぼうしはつよいね	田中賢(鷹巣北幼稚園)
佳作	おおきなおにもまけないぞ	小林涼太(鷹巣中央保育園)
佳作	やつとぬけたぞ おおきなかぶ	小畑ひかり(鷹巣中央保育園)
佳作	すてきなくつをつくりましょう	茂内柚(鷹巣中央保育園)
佳作	ぼくたちくつやさん	村上公成(鷹巣東保育園)

小学校 一年生

佳作	すてきなくつをありがとう	藤嶋 優那 (綴子保育園)
佳作	しましまてぶくろにはいったよ	吉田 勇人 (南鷹巣保育園)
佳作	みんな ここであそぼうよ	武田 沙輝 (七日市保育園)
佳作	かぶがぬけたよ	近藤 美緒 (米内沢保育園)
佳作	おにとうちでのこずちといっすんぼうし	戸沢 柚花 (米内沢保育園)
佳作	いっすんぼうし	庄司 沙樹 (米内沢保育園)
特選	みんなでクリスマスによる	久留嶋 瑠海 (鷹巣小)
入選	にこにこけっこんしき	三澤 瑚子 (綴子小)
入選	なかよくなりたかったのに	さとう ひびき (鷹巣南小)
入選	空のランプ	佐藤 大河 (鷹巣南小)
入選	おかしをえらんでいるスマレひめ	堀部 綾乃 (竜森小)
入選	やさしいおじいさん	松橋 千里 (大阿仁小)
入選	ぎょうぎのひ うれしいな	関 弘夢 (合川東小)
佳作	うみの中をたんけんしたよ	成田 鈴音 (鷹巣西小)
佳作	おいしいね	林 雄大 (鷹巣小)
佳作	うれしいね、ともだち	津谷 瑞希 (鷹巣小)
佳作	あえて よかったね	菅原 悠理 (鷹巣東小)
佳作	なかまたちとであえたユック	ちば さくら (鷹巣中央小)
佳作	アカオニにあいにくオバケちゃん	梅原 圭祐 (竜森小)
佳作	えさだぞ!あつまるさかなたち	武田 玲菜 (竜森小)
佳作	みんなでいっしょにおどったよ	柳山 紗希 (浦田小)
佳作	おやゆびひめ	簾内 咲帆 (浦田小)

小学校 二年生

佳作	花がいつばい	……………	松橋未来(大阿仁小)
佳作	かわいいアザラシ	……………	藤嶋星華(合川東小)
佳作	海のなかがいつばい	……………	山田海斗(合川東小)
特選	暗い中のお話	……………	高堰泰成(鷹巣小)
特選	チロヌツプのきつね	……………	小坂悠華(鷹巣東小)
入選	ガオウ	……………	津谷雄大(鷹巣小)
入選	へんてこなお茶会	……………	成田舞香(鷹巣小)
入選	おいしそうだな	がまくん かえるくん	小笠原実咲(鷹巣東小)
入選	どんどんきれいになるね	……………	小松加奈(鷹巣中央小)
入選	天国にいくネルロとパトラッシュ	……………	長岐 滢(鷹巣南小)
入選	いいよって言ったの聞いてたよ	……………	加賀京美(合川東小)
佳作	ひまねことわたしのるす番	……………	桜庭優佳(鷹巣西小)
佳作	さかなたちのさんぽ	……………	佐藤 樹(綴子小)
佳作	いい音鳴るかな	……………	金 萬 爽(鷹巣小)
佳作	くらげにさされていたそうだ	……………	伊藤孝輔(鷹巣中央小)
佳作	みじかいつのが長くなった	……………	松岡文明(鷹巣中央小)
佳作	たいじしたぞ!	……………	笹代博也(竜森小)

応募された方々〈感想文〉

小学校 三年生

高坂 佳樹 (鷹巣西小)  
 武藤 功太 (鷹巣小)  
 鈴木 瑠依 (鷹巣中央小)  
 中林 藤仁 (鷹巣南小)  
 澤井 夏海 (米内沢小)  
 田中 彩乃 (合川東小)  
 成田 みかる (鷹巣西小)  
 柴田 華子 (鷹巣小)  
 笹原 茉優 (鷹巣南小)  
 笹代 智也 (竜森小)  
 千葉 美采 (米内沢小)  
 奈良田 和真 (綴子小)  
 鹿川 総太 (鷹巣小)  
 岩本 謙吾 (鷹巣南小)  
 渡部 夏帆 (米内沢小)  
 佐藤 佑華 (大阿仁小)

四年生

堀内 遼太郎 (綴子小)  
 瀬川 大葉 (鷹巣小)  
 長岐 美優 (鷹巣小)  
 長岐 英泰 (鷹巣南小)  
 藤嶋 緑穂 (綴子小)  
 小林 檀 (鷹巣小)  
 松尾 拓哉 (鷹巣東小)  
 岩谷 佳奈 (綴子小)  
 北林 拓朗 (鷹巣小)  
 堀部 翔輝 (鷹巣東小)

五年生

篠内 朋未 (鷹巣西小)  
 田中 沙織 (鷹巣小)  
 中田 廣遥 (鷹巣南小)  
 宮野 夏子 (米内沢小)  
 奥山 香菜 (浦田小)  
 齊藤 智輝 (綴子小)  
 若松 一久 (鷹巣小)  
 畠山 翼 (竜森小)  
 松橋 勇輝 (米内沢小)  
 柴田 風 (前田小)  
 福田 渚 (綴子小)  
 畠山 幸史郎 (鷹巣南小)  
 畠山 啓太 (竜森小)  
 久留島 文香 (米内沢小)  
 木村 美冴 (合川東小)

六年生

小笠原 萌 (鷹巣西小)  
 齊藤 友紀子 (鷹巣中央小)  
 畠山 佳奈実 (鷹巣南小)  
 畠山 淑花 (竜森小)  
 近藤 春花 (米内沢小)  
 近藤 広康 (米内沢小)  
 柴田 菜那 (鷹巣小)  
 千葉 史保子 (鷹巣中央小)  
 佐藤 美知代 (竜森小)  
 渡辺 紗綾 (米内沢小)  
 成田 苑子 (米内沢小)  
 小原 とも子 (合川東小)  
 五代儀 恵美 (鷹巣東小)  
 藤原 聡子 (鷹巣南小)  
 堀部 澄恵美 (竜森小)  
 伊藤 幸論 (米内沢小)  
 奈良 美咲 (米内沢小)

応募された方々〈感想画〉

幼稚園・保育園

齋藤菜摘(綴子保育園)	太田柚那(綴子保育園)	伊藤りこ(鷹巣東保育園)	齊藤秀平(鷹巣東保育園)	海老澤太一(鷹巣東保育園)	土佐孝太(鷹巣中央保育園)	若松善晟(鷹巣中央保育園)	会田未知(鷹巣中央保育園)	長谷川瑞樹(鷹巣中央保育園)	千葉桃香(鷹巣中央保育園)	吉田美思(鷹巣中央保育園)	佐藤颯斗(鷹巣中央保育園)	斉藤裕里(鷹巣教会幼稚園)	長崎彩乃(鷹巣教会幼稚園)	久保泰人(鷹巣教会幼稚園)	伊東翼(鷹巣教会幼稚園)	千葉壮大(鷹巣教会幼稚園)	神谷ゆり(鷹巣教会幼稚園)	日下部千華(鷹巣北幼稚園)	牧野諒太(鷹巣北幼稚園)	津谷幸希(鷹巣西幼稚園)	金田夏姫(鷹巣西幼稚園)	萩野紫音(鷹巣西幼稚園)	藤嶋杏香(鷹巣西幼稚園)
佐藤優磨(綴子保育園)	高橋祐喜(綴子保育園)	佐藤冬華(鷹巣東保育園)	高橋光希(鷹巣東保育園)	小坂亮介(鷹巣東保育園)	中村佑太郎(鷹巣中央保育園)	畠山桜斗(鷹巣中央保育園)	松橋海斗(鷹巣中央保育園)	虻川響(鷹巣中央保育園)	村上理菜(鷹巣中央保育園)	成田帆香(鷹巣中央保育園)	藤原舞生(鷹巣中央保育園)	加藤滉生(鷹巣教会幼稚園)	成田真直(鷹巣教会幼稚園)	齋藤佳歩(鷹巣教会幼稚園)	魚住詩音(鷹巣教会幼稚園)	仲沢祐香(鷹巣教会幼稚園)	加賀谷詩織(鷹巣教会幼稚園)	浅野成美(鷹巣教会幼稚園)	金山悠大(鷹巣北幼稚園)	畠山怜生(鷹巣西幼稚園)	長崎怜大(鷹巣西幼稚園)	戸嶋風花(鷹巣西幼稚園)	中嶋文香(鷹巣西幼稚園)
柴田周(綴子保育園)	工藤夕奈(綴子保育園)	佐藤未紗希(鷹巣東保育園)	成田芳花(鷹巣東保育園)	中嶋咲蘭(鷹巣東保育園)	海老澤彰(鷹巣東保育園)	成田陽香(鷹巣中央保育園)	貝塚智史(鷹巣中央保育園)	岩本義樹(鷹巣中央保育園)	澤田友弥(鷹巣中央保育園)	長崎未来(鷹巣中央保育園)	後藤涼(鷹巣中央保育園)	成田聖允(鷹巣中央保育園)	森山紅葉(鷹巣教会幼稚園)	千葉俊介(鷹巣教会幼稚園)	金澤賢侑(鷹巣教会幼稚園)	肥後孝行(鷹巣教会幼稚園)	木村勇磨(鷹巣教会幼稚園)	鈴木桃花(鷹巣教会幼稚園)	畠山竜一(鷹巣北幼稚園)	藤嶋巽(鷹巣北幼稚園)	長崎夏海(鷹巣西幼稚園)	佐藤泉里(鷹巣西幼稚園)	津谷幸穂(鷹巣西幼稚園)

小学校 一年生

津谷輝一(綴子保育園)	大川優美(綴子保育園)	津谷信平(綴子保育園)	齊藤祐也(綴子小)	小笠原怜志(綴子小)	みさわかずき(綴子小)
今立天真(綴子保育園)	伊藤純太(綴子保育園)	佐藤宏樹(綴子保育園)	三沢紘汰(綴子小)	佐藤由茉(綴子小)	秩父東子(綴子小)
桜庭そら(綴子保育園)	藤島瑞希(綴子保育園)	藤嶋優生(綴子保育園)	藤本理子(鷹巣小)	いし川れおん(鷹巣小)	くるしまもか(鷹巣小)
佐藤未奈(綴子保育園)	山口玲匡(綴子保育園)	成田智郎(綴子保育園)	高橋沙代子(鷹巣小)	高橋美樹(鷹巣小)	柴田菜々子(鷹巣小)
湊智貴(綴子保育園)	保坂虹湖(綴子保育園)	桜庭圭(南鷹巣保育園)	村上雄登(南鷹巣保育園)	山口悠大(南鷹巣保育園)	小坂千夏(南鷹巣保育園)
相馬真彩(南鷹巣保育園)	山口晶(南鷹巣保育園)	中嶋千夏(南鷹巣保育園)	中嶋愛理(南鷹巣保育園)	笹原羽衣(南鷹巣保育園)	柴田凌汰(南鷹巣保育園)
嶋山成琉(南鷹巣保育園)	中田芽吹(南鷹巣保育園)	相沢拓杜(南鷹巣保育園)	糸洲寛勢(南鷹巣保育園)	佐藤東(南鷹巣保育園)	三沢董(南鷹巣保育園)
嶋山衿花(南鷹巣保育園)	近藤伸亮(南鷹巣保育園)	村上夏季(南鷹巣保育園)	津谷美智子(南鷹巣保育園)	中嶋洋亮(南鷹巣保育園)	嶋山夏季(南鷹巣保育園)
佐藤熙(南鷹巣保育園)	鈴木和輝(南鷹巣保育園)	渡辺瑠海奈(南鷹巣保育園)	三上美沙希(七田市保育園)	長岐和輝(七田市保育園)	富澤咲奈英(七田市保育園)
成田叶望(七田市保育園)	佐藤聖也(七田市保育園)	大坂翔太(七田市保育園)	宮野駿平(米内沢保育園)	山本麻衣(米内沢保育園)	武田直也(米内沢保育園)
木村駿太(米内沢保育園)	九島瑞穂(米内沢保育園)	近藤明日香(米内沢保育園)	齊藤祐也(綴子小)	小笠原怜志(綴子小)	みさわかずき(綴子小)

小学校 二年生

澤田彩未(鷹巣小)	馬淵優衣(鷹巣小)	堀内奈々(綴子小)	佐々木果琳(綴子小)	山内拓未(綴子小)	齋藤真慶(綴子小)	佐藤 颯(合川東小)	齋藤 玲於奈(合川東小)	津谷陽輝(合川東小)	渡辺璃央(合川東小)	佐藤千博(合川東小)	栗田礼(合川東小)	春日健人(大阿仁小)	西根亮(大阿仁小)	泉優花(大阿仁小)	佐藤綾夏(前田小)	千葉海里(鷹巣南小)	松田竜来(鷹巣南小)	佐藤麻望(鷹巣南小)	佐藤玲那(鷹巣南小)	長岐優菜(鷹巣南小)	かま田まゆ(鷹巣南小)	たけいしこなみ(鷹巣中央小)	木むら ゆうか(鷹巣中央小)	たまつくりこうだい(鷹巣中央小)	
清水将哉(鷹巣小)	長岐真菜(鷹巣小)	鈴木達矢(鷹巣小)	津嶋美衣(綴子小)	明石真穂(綴子小)	鈴木恭志郎(綴子小)	小野友佑(合川東小)	松岡南海(合川東小)	後藤佳吾(合川東小)	金森彩夏(合川東小)	工藤七瀬(合川東小)	佐藤亜沙美(大阿仁小)	松橋 栞(大阿仁小)	鈴木杏菜(大阿仁小)	織山秀道(前田小)	畠山こう洋(竜森小)	ちばけいしゅう(鷹巣南小)	かんなりせいな(鷹巣南小)	佐藤 俊(鷹巣南小)	石田千保子(鷹巣南小)	ながき みなみ(鷹巣南小)	まじま きほ(鷹巣中央小)	さと う ななこ(鷹巣中央小)	中じまりようた(鷹巣中央小)		
畠山 蛭(鷹巣小)	八木橋真衣(鷹巣小)	藤田大貴(鷹巣小)	保坂名菜(綴子小)	沢田侑那(綴子小)	堀内勝光(綴子小)	木村美月(合川東小)	佐藤唯人(合川東小)	武石七海(合川東小)	佐藤ほのか(合川東小)	今泉佳人(合川東小)	森澤 響(合川東小)	松橋 悠(大阿仁小)	菊池亮太(大阿仁小)	伊藤亮人(前田小)	藤本恭也(浦田小)	山田宗一朗(鷹巣南小)	立石優慎(鷹巣南小)	本じょうやまどか(鷹巣南小)	成田菜生(鷹巣南小)	ながき しゅん(鷹巣南小)	佐藤和稀(鷹巣南小)	さと う ゆずは(鷹巣中央小)	ながの ゆうき(鷹巣中央小)		



## 応募者数及び入賞者数一覧

### 《感想文》

部 門		応募者	特 選	入 選	佳 作
小学校	3年生	22	1	2	3
	4年生	16	1	2	3
	5年生	20	1	2	2
	6年生	23	1	2	3
中学校	1年生	7	1	4	2
	2年生	3		1	2
	3年生				
高 校・一 般		4	1	3	
合 計		95	6	16	15

### 《感想画》

部 門		応募者	特 選	入 選	佳 作
幼稚園・保育園		149	1	12	12
小学校	1年生	95	1	6	12
	2年生	82	2	6	6
合 計		326	4	24	30

平成18年2月  
北秋田市教育委員会

平成 17 年度北秋田市読書感想文・感想画コンクール作品集「読書のあとで」に誤りがありました。お詫びの上、訂正いたします。

「読書のあとで」正誤表

P 6 下段 誤「鷹巣東小学校 1 年 小坂悠華」 正「鷹巣東小学校 2年 小坂悠華」

P 1 6 2 段目 誤「浦田小学校 1 年 簾内咲帆」 正「前田小学校 1 年 簾内咲帆」

P 3 2 左から 1 行目 誤「簾内咲帆（浦田小）」 正「簾内咲帆（前田小）」